



安心・安全を運ぶ

プロフェッショナルが選ぶのは

純正部品

日本トレクスは「予防整備」を推奨します。



：定期点検



：定期交換

エア・ブレーキ・ホース・カップリングのパッキン



1年毎

リレー・エマージェンシ・バルブ



3ヶ月毎
冬期前

1年毎
(ゴム部品)

ブレーキ・ホース及びパイプ



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

2年毎
(ホース)

エアサス用エアバッグ



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

3年毎
(Ass'y)

ショックアブソーバ



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

3年毎
(Ass'y)

オートマチックスラックアジャスタ



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

3年毎
(Ass'y)

ABS・EBS装置



3ヶ月毎

5年毎
(年式により異なる)

ブレーキ・チャンバ (ダイヤフラム及びゴム部品)



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

2年毎
(ダイヤフラム)

ブレーキ・チャンバ (スプリング・チャンバ部 (非分解型のみ))



3ヶ月毎
シビア・コンディションは
1ヶ月毎

3年毎
(Ass'y)

シビアコンディションの判定

悪路 (凹凸路、砂利道、雪道、未舗装路等)	走行距離の30%以上が次の条件に該当する場合	・運転者が体に衝撃(突き上げ感)を感じる荒れた路面 ・車体が左右に揺られる荒れた路面
走行距離が多い	走行距離が多い場合(目安)10,000 km以上/月	
山道、登り降りの頻繁な走行	走行距離の30%以上が次の条件に該当する場合	・登り降りが多く、ブレーキの使用回数が多い場合 ・車体が左右に揺られることが多い場合
けん引自動車の駐車ブレーキの多用	洗滞、荷役待ち等で駐車ブレーキの回数が多く、けん引自動車の駐車ブレーキを多用(20回前後/日)する場合	

日本トレクスは安全安心を提供する
皆様のパートナーです。

日本トレクス株式会社

トレーラの日常点検



日常点検は、運行前等に点検順序を決め必ず実施するようお願いします。

トレーラを安全かつ有効に使用して頂くために、法令で定められた基準に基づいた日常点検項目の推奨項目及び、点検順序を紹介します。尚、機種により異なる項目、内容については、取扱説明書等によって下さい。

10

▲補助脚(作動、格納)

9

▲スペアタイヤ、キャリア(取付確認)

8

駐車ブレーキ

▲スプリング式駐車ブレーキ(コントロールバルブ等の異常)(排気音の状態)

パーキングブレーキコントロールバルブ

解除確認

スプリングブレーキ式駐車ブレーキ

●機械式駐車ブレーキの引きしろ

弛む 締る

機械式駐車ブレーキ

7

●エア・タンク(凝水)

▲ドレーンコック(漏れ)

エアタンク

ドレーンコック

ブレーキ

▲ブレーキ・チャンバ(作動、漏れ)

▲ブレーキ・ホース(亀裂、損傷)

11

▲ABS警告灯(作動確認)

●空気圧(確認)

▲リレー・エマージェンシ・バルブからの排気音

▲連結時のブレーキの利き具合

警告灯の一例

トラクターキャブ

トラクタ トレーラ

警告灯 橙

インフォメーションランプ 黄

12 ●運行において認められた異常箇所(点検)

注)日常点検において

●印は法定点検項目

▲印は自主点検項目

1

▲ジャンパ・ホース、ブレーキ・カップリング(取付状態、漏れ、損傷)

▲ジャンパ・ケーブル、ABSケーブル(連結具合、損傷)

2

カブラ操作レバー

ジョー

ロックレバー

▲カブラジョー、レバーまたはピントル・フックとドローバー・アイ(損傷、連結具合)

3

ツールボックス

▲車向付属品(有無の確認、搭載具合の確認)

※ツールボックスについてはトレーラ取扱説明書をご確認下さい

4

リブパターン 新品

ラグ型パターン 新品

亀裂

剥離

この状態が摩耗限界

●タイヤ(空気圧、亀裂、損傷、異常摩耗、溝深さ)

●ディスク・ホイールの取付状態

▲ホイール・ナット(緩み)

ホイール・ナットが締まっているか

6

●タイヤ

●ディスク・ホイールの取付状態

▲ホイール・ナット

5

制動灯 尾灯

バックランプ(後退灯) 方向指示器

ライセンスランプ(番号灯)

●灯火装置(点灯または点滅、汚れ、損傷)